

グローバル COE レポート 24

第 7 回グローバル COE 国際シンポジウム

Global COE Report 24

The 7th International Sport Science Symposium on “Sport Sciences for the Promotion of Active Life”

柴田愛、曹振波、中田大貴、内田雄介

Ai Shibata, Zhen-Bo Cao, Hiroki Nakata, Yusuke Uchida

早稲田大学スポーツ科学学術院

Faculty of Sport Sciences, Waseda University

スポーツ科学研究, 9, 234-238, 2012 年, 受付日:2012 年 10 月 10 日, 受理日:2012 年 10 月 10 日

2012 年 9 月 3 日(月)、早稲田大学東伏見キャンパス 79 号館にて、早稲田大学スポーツ科学学術院グローバル COE 国際シンポジウム「The 7th International Sport Science Symposium on “Sport Sciences for the Promotion of Active Life”」を開催した。7 回目を数える今回の国際シンポジウムは、プロジェクト II (中高年の健康増進)において、国内外で注目されているトピックを中心に実施された。

午前の部では、まず、開催にあたり早稲田大学スポーツ科学学術院グローバル COE プログラム拠点リーダー彼末一之教授より開会の辞が述べられた。その後、我が国における急速な高齢化の進展を鑑み、高齢期の大きな健康問題である“dementia”・“sarcopenia”に焦点を当て、身体活動・運動が担う役割についてシンポジウムが行われた。国際的に目覚ましい活躍をされている Michelle Voss 博士(The University of Iowa; 米国)、朴眩泰博士(国立長寿医療研究センター; 日本)から最新の研究データを中心にご発表を頂き、オープンフロアディスカッションが行われた。続いて行われた基調講演①では、身体活動・運動の促進を支援する新たな方策として、健康日

本 21(第 2 次)の中でも取り上げられている環境整備(“built environment”)の重要性について、杉山岳巳博士(Baker IDI Heart and Diabetes Institute; 豪国)よりご講演を頂いた。国内外の研究動向をはじめ、杉山博士が所属する国際的に評価の高い研究プロジェクトの最新の研究成果をご拝聴した。

午後の基調講演②では、東日本大震災から 1 年半が経過し、このような未曾有の大規模災害によって引き起こされる健康問題、スポーツ・健康科学が担うべき役割とその現実について、東北大学大学院医工学研究科 永富良一教授に極めて貴重なご講演を頂戴した。次に、近年、身体活動不活動(健康維持・増進に有用である身体活動・運動を行わないこと)とは別に、健康指標に悪影響があるとして注目を集めている座位行動について、The University of Queensland (豪国)Genevieve Healy 博士より基調講演が行われた。比較的新しいトピックを分かりやすく、最新の健康指標と関連における知見や現在博士らの研究グループで実施されている介入を含めてご発表頂いた。招待講演者の先生方を囲んで記念撮影を写真 1 に示す。

今回の国際シンポジウムでは、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程 3 年次のグローバル COE プログラム登録学生企画による学生シンポジウムを初めて開催した(写真 2)。“Mega-sports Events”および“Wellness in Athletes”の2セッションに分かれ、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科及び協定校からの大学博士後期課程の学生を含む 9 名の若手研究者による発表が行われた。それぞれの研究発表の後には、学生間で活発な議論が交わされた。その後、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程 G グローバル COE プログラム登録全学生による 63 演題のポスター発表(各々の発表内容は、別掲)が行われ、盛んな議論が行われた。

ポスター発表終了後に行われた懇親会(写真 3)では、3 名の優秀ポスター賞(安藤貴史:早稲

田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程 3 年、樋口貴俊:同研究科博士後期課程 3 年、何莉:同研究科博士後期課程 2 年)が授与され、またシンポジウム参加者間のより緊密な交流が促進された。最後に、彼末一之 GCOE プログラム拠点リーダーは、「今回のシンポジウムは、初めてプログラム登録学生が 3 年次を中心に運営および実施をしたシンポジウムでしたが、非常に素晴らしいものになりました。この成功に満足することなく、今後も国内外で活躍できる高いレベルの研究者を目指して、今後も積極的に研究活動・学术交流に努めていってもらいたい」と語られた。早稲田大学スポーツ科学学術院グローバル COE プログラムの国際シンポジウムが若手研究者同士の交流・情報交換の場としても今後ますます活用されていくことを期待する。



写真 1. 招待講演者の先生方を囲んで記念撮影



写真 2. 活発な議論が繰り広げられたポスター発表



写真 3. 懇親会風景

講演者および講演内容は以下のとおりであった。(各々の発表内容は、別掲)

[Symposium]

**Roles of physical activity for older adults
Maximizing brain plasticity with
physical exercise**

Michelle Voss PhD

Assistant Professor, Department of
Psychology, The University of Iowa

Physical activity and musculoskeletal health in older adults

Hyuntae Park PhD

Head, Section for Physical Activity and Health, National Center for Geriatrics and Gerontology

University Cologne

Research on Interaction Development between Sports Events and Metropolis Tourism Industry

Lei Luo, Shanghai University of Sport

[Keynote Lecture 1]

Environment, habitual physical activity and health

Takemi Sugiyama PhD

Senior Researcher, Behavioural Epidemiology laboratory, Baker IDI Heart and Diabetes Institute

The comprehensive evaluation study of china's emergency response to major sports events based on AHP method

Yun-chao Ma, Tsinghua University

[Keynote Lecture 2]

Roles of health and sport sciences on recovery from the Great East Japan Earthquake

Ryoichi Nagatomi MD, PhD

Professor, School of Medicine, Tohoku University

Assessing the legacies/impacts of the London 2012 Games (in a non-hosting region)

Shushu Chen, Loughborough University

Key Success Driver of Japanese Elite Sport System

Hiroaki Funahashi, Waseda University

[Keynote Lecture 3]

Sitting and health – from associations through to recommendation

Genevieve Healy PhD

NHMRC Postdoctoral Research Fellow, School of Population Health, The University of Queensland

Wellness in Athletes

Optimal exercises to positively alter running biomechanics in older adults.

Reginaldo K Fukuchii, University of Calgary

Wellness in Athletes in Korea

Junehong Kim, Seoul National University

[Student Symposium]

Mega-sports Events

The color effect: How mega sport event sponsors can increase the TV viewer's attention

Christopher Rumpf, the German Sport

The effect of positive affect on building mental resilience and predicting performance and satisfaction among collegiate athletes

Szuyu Chen, National Taiwan Normal University

**An influence of breathing technique on
the position of center of mass and
buoyancy: Suggestion for the horizontal
alignment of swimming**

Yusuke Maruyama, Waseda University